



食品製造業/農産物加工食品の製造販売 「メリーファーム梨子本」様



農産物直売所向け
カラーラベル作成機
TMC3400LT1

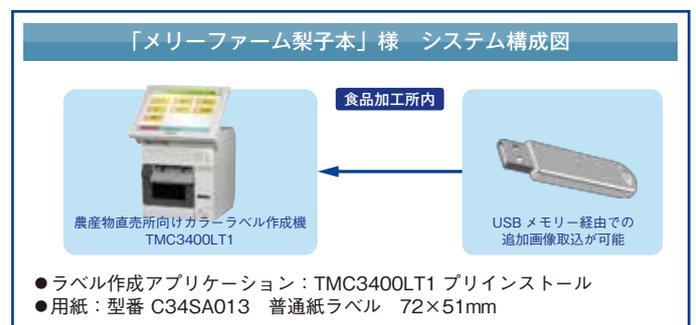
**お客様のご意見や反応を見ながら
独自の工夫でオリジナル商品ラベルを作成
目を惹くデザインが話題を呼び売上に貢献!**

導入状況

● **品質の良さが人気、地元農産物を使った加工食品メーカー**
メリーファーム梨子本様は、蒟蒻、柚子、山椒、生姜、卵など、地元農産物を主な原料として、こんにやく、みそ、ジャム、煮物惣菜、漬物、佃煮、餅、煮卵などの製品を製造販売している加工食品メーカーです。吉野の醤油を使った煮卵やチューブ入りの柚子みそなど、おいしく品質の良い商品は大変人気があり、地元の大規模農産物直売所「JAならけんファーマーズマーケットまほろばキッチン」や、東京にある奈良県アンテナショップ「奈良まほろば館」、関西の大手スーパーマーケットなどに製品を出荷しています。メリーファーム梨子本様では、昨年全商品のパッケージラベル作成に「TMC3400LT1」を導入。加工所内で日々のラベル出力に使用しています。

● **独自の工夫でオリジナルデザインの商品ラベルを作成**
デザイン作成は製品プリンストールのラベル発行アプリケーションを使用、代表者ご自身で文章やレイアウト、カラーなどを工夫しながらオリジナルの商品ラベルを作成。ラベル用紙には、普通紙ラベル 72×51を採用し、約15～16品目、1か月に4000枚程度の出力を「TMC3400LT1」で行っています。
代表者の梨子本マミ子氏にお話を伺いました。
「はじめは内蔵のサンプルパターンを利用して作っていましたが、次第に面

白さに目覚め、目を惹く凝ったデザインにチャレンジするようになりました。今では、知り合いの大学生に手描きイラストを頼んだり、自分で書いた手書き文字をスキャナーでスキャンし、USBメモリを経由して製品へ取り込み利用したりしています。さらに、お店で他社製品をリサーチしたり、店頭販売や試食会でお客様のご意見や反応を見ながら、試行錯誤しながら、文章内容やラベルデザインに少しずつ改良を加え続けています。目を引くのは黄色、赤字で“手作り”を強調すると効果的、黒線やコーナーに三角を入れると紙面が引き締まる等、工夫によりリピーターが増えるのがとても楽しみです。」



食品製造業/農産物加工食品の製造販売

「メリーファーム梨子本」様

導入の経緯

無料ラベル作成ソフトと市販ラベル用紙を使用、
使い勝手が悪く、プリント用紙の無駄が多かった

● 市販品は使い勝手が悪く、専用機を探していた

「以前は、パソコンとMicrosoft® Wordや無料ラベル作成ソフトでデザイン、エプソンの顔料インクプリンターで、A4 1シート12枚や18枚綴りの市販ラベル用紙を使って出力していました。それだとシート1枚のラベル数が決まっているため、実際に必要な枚数以外の余りが出やすく、用紙の無駄が多く発生していました。

また、余ったラベルを有効活用するために手押しスタンプで追加印字して利用したりしていましたが、賞味期限の印字ミスであり得ない日付を印字してしまったり、スタンプインクが滲みて、貼り直しが必要になるなどのトラブルもありました。また、ラベルプリント時の微妙な余白やズレの調整に時間と手間がかかるなど、使い勝手が悪く、何か専用の良いものは無いかと探しておりました。」

● 導入の決め手はオールインワンの手軽さ

「ちょうどその頃に、奈良県明日香村の農産物直売所「あすか夢販売所」で既に導入されていた「TMC3400LT1」を知り、現場で相談、その後、パンフレットと実物を見て即導入を決めました。導入の決め手は、タッチパネルディスプレイ付きで、パソコンやラベル作成ソフト、特別な設置作業などが要らないオールインワンの手軽さ。また、操作が簡単で誰でも使い、好きなデザインが自分で工夫しながら作れること。機器操作はエプソンの営業担当者に指導してもらいましたが、パソコンには馴れていたもので、30分程度で基本操作はマスターでき、実際の運用開始もスムーズにできました。最初は思ったデザインを作成するのに少し時間がかかりましたが、今では簡単なモノなら10分程度で作れます。」と梨子本氏は製品の良さを語ります。



導入後のご感想

ラベル作成の手間が軽減
出力時の調整や無駄もなくなり効率化

● 目を惹くデザインでお客様の反応は良好、新聞取材も訪れた

「導入してからはラベル作成の手間が軽減、いちいち用紙を入れ替えたり調整する必要もなく、ラベル用紙の無駄もなくなりました。また、必要な時は、私以外にも誰でも印刷操作できるので、その点も安心です。

導入当初は裏面の商品原料表示ラベルもこの製品で出力していましたが、効率的運用を考え、現在、裏面は別のモノクロ感熱プリンターを使用しています。ラベル代、インク代を合わせたランニングコストは安くはありませんが、カラープリントで目立つデザインが、自分で工夫しながら手軽に作れる点は他の製品にはない大きな魅力です。お客様の反応も良好で、独自ラベルを目印にしたリピーターが増加しており、同じ商品を扱っている他社に比べて売れている印象です。さらに、白いラベルが貼っている商品ということで日

本農業新聞が取材に訪れるなど、思わぬ宣伝効果もありました。」

● 人にも薦める信頼性、エプソンの顔料インク

「10年以上前から長年に渡りエプソンプリンターを使用しており、エプソンの顔料インクには非常に信頼を置いています。印字面は摩擦にも強く、水に濡れても滲まないのが、パッケージラベルには最適だと思います。私の知り合いの同業者にも、自信を持って薦めています。

また、「TMC3400LT1」は一体型でありながら本体はコンパクト、用紙やインク交換などのメンテナンスも簡単です。今後は、コピー&ペースト機能や描画機能の充実など、さらなるデザイン自由度のアップを期待しています。」



■ 企業概要

■ 所在地

<加工所> 〒637-0035 奈良県五條市靈安寺町1885

■ 代表者 梨子本 マミ子 様

■ 創業 2011年(平成23年)

■ 事業内容 農産物加工食品の製造販売



販売商品の一例



人気のチューブ入り商品

製品に関するお問い合わせ・資料請求は下記まで

インフォメーションセンター

TEL.050-3155-7020

受付時間 9:00~17:30 月~金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

<http://www.epson.jp/label/>

* 左記電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しております。
* 左記番号がご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTT東日本、NTT西日本の
固定電話(一般回線)からおかけいただくか、042-585-8525までおかけ直してください。

エプソン販売株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿4丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー